



広報

なは

市民の友

第650号 毎月1回発行
2005年(平成17年)

3月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷機

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人 2005(平成17)年1月末現在	
総人口	313,590(1,925)
男	151,696(1,003)
女	161,894(922)
世帯数	125,525(1,132)
住民基本台帳人口の内部(外国人を除く)	
本 庁	90,928
真和志	105,528
首 里	59,001
小 緑	56,208

なはさくらまつり 2005



桜もほっぺも ピンク色!

今年で12回目を迎える「なはさくらまつり2005」(主催・全沖縄花木生産組合)が2月9日(水)から13日(日)までの間、与儀公園で開催されました。

「なはさくらまつり」は、北から南下してきた桜の便りが那覇に届くこの時期に毎年行われるもので、市内でお花見が出来る桜の名所・与儀公園とともに、すっかり市民に定着しています。

与儀公園には、約400本の寒緋桜(かんびざくら)が植えられています。暖かい日が続いたため花の咲き具合は9日のオープンニング時には、4から5分咲きと、例年より若干遅めでしたが徐々に開花、まつり最終日にはほぼ満開となり、会場を訪れた人たちも、桜の下でお弁当を広げたり、記念写真を撮るなど思い思いに花見を楽しみました。

保母さんに手を引かれ、お散歩にやってきた近くの保育園や幼稚園の園児たちも、青空に映える愛らしい桜を見上げ、咲き誇る桜と同じピンク色に頬を紅潮させ、興奮気味に「すい、すい」、「とってもきれい」と歓声を上げていました。

また、まつり期間中に、公園広場で同時開催された植木祭りも、市価よりも安く手に入るとあって多くの人が、お目当ての花木を買い求めました。

紙面
平成17年度予算案のあらまし
市民と行政の協働によるまちづくり
平成17年度(2005年度) 3
市長の施政方針(要旨) 4
技と情熱をこめて那覇の物産展 5
情報P A C K 6
7

市長談 2 TAIDAN 22



うえはら こうじろう
上原 厚治郎さん
ヤクルトスワローズ投手
1983年那覇市生まれ。興南高校、沖縄電力を経て、04年ヤクルトスワローズ入団。興南高校3年生の春に県大会優勝。最速148キロの速球を武器に開幕一軍入りを目指す。

市長 甲子園出場がかなわなかったことが、プロを目指すきっかけになったとお聞きしましたが。

上原 厚治郎さん 高校の先輩の松谷選手も居ますし、グランドやロッカールームでも、先輩方が気軽に声をかけて下さいますし、とても充実しています。

上原 その時は本当に悔しくて、その分、飯を食いしばって練習に励み、社会人野球の世界に進み、プロ野球でやってみたいという気持ちが大きくなって、今の自分があるんじゃないかなと思います。

市長 見事に夢をかなえたわけですね。

上原 はい。僕は、小学生の頃から野球をやっているのですが、今まであきらめることがありませんでした。試合で負けても、次は勝とうという気持ちがあつて、それと好きな言葉が、がむしゃらに、くじけることなく頑張ってきました。そういう気持ちをスポーツをしている子どもたちにも持ってほしいです。

市長 好きな言葉が、がむしゃらですか、明るくまっすぐに突き進むという感じが、若いあなたにピッタリですね。ところで、セリーグにはジャイアンツのロース選手をはじめ、強打者がそろっていますが、対戦するのは怖いという気持ちはないですか。

上原 はいはい。いえませんが、やはり対戦してみたいと思います。自分の力を試してみたいという思いの方が強いので、今は対戦する楽しみのほうが上です。

市長 今年の目標や抱負を聞かせてください。

上原 僕は速球に自信がある中で真っ直ぐな中心で勝負し、早く一勝したいです。そしてプロとして活躍して、市民・県民のみなさんから応援してもらえるような選手になれるようがんばります。

市長 あなたの活躍する姿が、市民・県民に大きな夢と希望を与えてくれると思います。頑張ってください、期待しています。



がむしゃらに夢を追う

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せ下さい。
☎862-9942 秘書広報課

再生紙を
12100 使用しています。